

第25回総会・防衛講話

国会議員に問う「我が国安全保障の課題と展望」

- 元統合幕僚長 河野克俊氏
- 参議院議員 宇都隆史氏
- 参議院議員 石川博崇氏
- 参議院議員 松川るい氏

基調講演



基調講演 QRコード



左から高橋忠義会長(司会)、河野克俊氏、宇都隆史氏、石川裕崇氏、松川るい氏

今回のウクライナ戦争は日本の安全保障に直接影響を及ぼしている。それは、これまで世界が信じて疑わなかった安全保障の前提が崩壊した。その一つがNPT体制(核兵器不拡散体制)の崩壊。北朝鮮の核保有に正当性を与えてしまっただけでなく、ロシアはウクライナ侵略に伴って核兵器による脅しをしたため、NPTの前提が崩壊した。この3つのことを考慮すれば、我が国の安全保障環境が大きく変わり、特に核抑止の環境が明確に変わった。核戦略に對し議論すべきである。議論の結果、引き続き非核3原則に則るといふ結論が出るかもしれないが、少なくとも議論はすべきである。台湾有事については、中国は台湾併合に軍事力を使うという前提で議論すべき。ただし、軍事侵攻が可能な

という状況はあり得る。台湾有事は日本有事である。なぜなら、政治的理由として、中国自身が尖閣諸島は台湾に領有権があると主張しているからであり、尖閣だけを切り離して台湾に進攻すると思えるべきではないということ。軍事的理由としては、日本の距離的に極めて近い台湾で軍事行動が行われれば少なからず影響があるということである。台湾有事があった場合、政府は「重要影響事態」存立危機事態」「武力攻撃事態」を見極めることになる。9条に則って自衛隊が存在できるのは、自衛隊が9条2項の「陸海空軍及び戦力」以下であるという解釈であるからである。国際的にみても、この解釈は破綻しているのは明らかであり、このような状態を次の世代まで引き継ぐべきではない。この3つのことを考慮すれば、我が国の安全保障環境が大きく変わり、特に核抑止の環境が明確に変わった。核戦略に對し議論すべきである。議論の結果、引き続き非核3原則に則るといふ結論が出るかもしれないが、少なくとも議論はすべきである。台湾有事については、中国は台湾併合に軍事力を使うという前提で議論すべき。ただし、軍事侵攻が可能な

であり、国防のために行動する自衛隊の態様まで「必要最低限」と縛り付けることが9条の精神に則しているとは考えない。憲法改正の自民党の提案している4つの改正のうち、この9条の改正だけは別格だと思っている。共産党の主張は「自衛隊は違憲であるが国民が要らない」というまでは、その存在を認め活用していく」ということであり、国民の多くが自衛隊を認めている今日、違憲論はとくに破綻している。一方、合憲論も破綻している。9条に則って自衛隊が存在できるのは、自衛隊が9条2項の「陸海空軍及び戦力」以下であるという解釈であるからである。国際的にみても、この解釈は破綻しているのは明らかであり、このような状態を次の世代まで引き継ぐべきではない。この3つのことを考慮すれば、我が国の安全保障環境が大きく変わり、特に核抑止の環境が明確に変わった。核戦略に對し議論すべきである。議論の結果、引き続き非核3原則に則るといふ結論が出るかもしれないが、少なくとも議論はすべきである。台湾有事については、中国は台湾併合に軍事力を使うという前提で議論すべき。ただし、軍事侵攻が可能な

力に自衛隊に保有させるべきである。統合防衛力を高めるため、陸・海・空自衛隊のC3(指揮・統制・通信)能力の統合を推進していく必要がある。まずはこの2点を強調したい。石川 有事の私権制限について課題がある。例えば、私有地の使用であるとか、電波の使用といったことなど、具体的に整理しておく必要がある。また、私もC3の統合強化をすすめていく必要があると考える。③任期制隊員が退職する際、自衛隊に捨てられたという印象を持って辞めていく隊員が少なからずいる。地方公務員に再就職できる制度を創設するなど処遇を改善すべき。④若い人たちは転勤したくない人が多い。転勤を抑制する制度をすすめていくのが重要。⑤現職がやらずに良い分野についてOBの活用を推進すべき。司会 これから、安全保障のエキスパート4氏とともに3つの課題について議論を進めたい。政党を離れ国会議員個人の立場で思い切って発言されたい。まず、自衛隊の抱える課題と解決策について

パネルディスカッション



パネルディスカッション QRコード

河野 現役時代、防衛力整備に永年携わってきたが、防衛費の制約から正面装備に力を入れすぎて、隊員の処遇を含め後方支援経費を後回しにしてきたことが反省点としてある。宇都 今まではすべてを米軍に頼ってきた敵基地反撃能力を自衛隊に保有させるべきである。統合防衛力を高めるため、陸・海・空自衛隊のC3(指揮・統制・通信)能力の統合を推進していく必要がある。まずはこの2点を強調したい。石川 有事の私権制限について課題がある。例えば、私有地の使用であるとか、電波の使用といったことなど、具体的に整理しておく必要がある。また、私もC3の統合強化をすすめていく必要があると考える。③任期制隊員が退職する際、自衛隊に捨てられたという印象を持って辞めていく隊員が少なからずいる。地方公務員に再就職できる制度を創設するなど処遇を改善すべき。④若い人たちは転勤したくない人が多い。転勤を抑制する制度をすすめていくのが重要。⑤現職がやらずに良い分野についてOBの活用を推進すべき。司会 私の意見として、鳥インフルエンザの殺処分やワクチン接種センターなど自衛隊を便利屋に使うのは辞めてもらいたい。これは国会議員3人の宿題として持ち帰ってもらおう。

次に台湾有事について議論したい。中国に武力攻撃の手段を取らせない方策について外交防衛の観点から議論をしたい。また、自衛官の社会的地位を向上させるのが大事。例えば、イスラエルのように軍事知識をもった軍出身の人材がサイバーの分野で活躍できるような新しいビジネスを作っていくべき。石川 少子高齢化の中で、自衛官を確保していくための方策として、家族支援を充実していくことにより、子どもがいても安心して任務につける体制を作っていく必要がある。宇都 ①実員と定数の1万人以上の乖離がある。この原因は一瞬でも定員が超えると法律違反となるという防衛省の法律解釈であり、これを年間平均人員が超えないという解釈変更をすべき。②寒冷地手当等を削って都心手当を増額してきたという反省に立って、これを見直して公平な手当にしていくべき。③任期制隊員が退職する際、自衛隊に捨てられたという印象を持って辞めていく隊員が少なからずいる。地方公務員に再就職できる制度を創設するなど処遇を改善すべき。④若い人たちは転勤したくない人が多い。転勤を抑制する制度をすすめていくのが重要。⑤現職がやらずに良い分野についてOBの活用を推進すべき。司会 私の意見として、鳥インフルエンザの殺処分やワクチン接種センターなど自衛隊を便利屋に使うのは辞めてもらいたい。これは国会議員3人の宿題として持ち帰ってもらおう。

力、日米を中心とする防衛力、とりわけ海を越えて陸軍戦力を進めようとするのに対して、どこから来るのか分からないという非対称な脅威、例えば原子力潜水艦などを整備し、平時から多くの同盟国とプレゼンスを示していることが重要である。日本も原子力潜水艦を持つのも良いと思う。宇都 ウクライナ情勢で学ぶべきは、米国が早々に軍事介入しないということ。表明してしまっただけでロシアに軍事進攻を許したという点。したがって、台湾情勢に關しては、米国の①日米安保条約第5条が適用される、②通常兵力の使用についても核を使用する、ということを常時発信させる外交を進めることが重要。ウクライナは1国だけで戦ってはいない。1つは兵站作戦、もう1つは国民保護。これを台湾有事に多くの国々から支援を受けられるようにクワッド等様々な枠組みを通じて外交を進めていく必要がある。河野 難しいとは思いますが、日米の台湾有事作戦計画策定に台湾軍を入れて策定していくかという意味がない。また、台湾軍との共同訓練の抑止につながる。司会 台湾に中国が侵略してきたとき、特に我が国には攻撃がなく台湾にのみ進攻してきた場合に我が国の対応について聞きたい。宇都 重要影響事態は、なかなか認定できないと思う。石川 重要事態が認定される前に、自衛隊の継戦能力

の強化、在台湾の5万人の邦人の出国や先島の住民の避難なども考慮しなければならぬ。松川 中国はウクライナ情勢でしっかり学んでいる。中国はロシア以上に負けられない。したがって、心理作戦などあらゆる手段を駆使すると同時に圧倒的な戦力で攻めてくるという想定が必要。ウクライナから学ぶとすれば、先島諸島にシェルターなどないという問題についても考えておく必要がある。中国の動きを察知するインテリジェンス能力を保有すべきと考えられる。もっとも重要なのは、台湾自身が防衛力を上げていくこと。宇都 中国はウクライナ情勢をしっかりと分析している。ロシアのように相手に準備を与えるようなことはしないであろう。したがって、兆候があつて段階的にエスカレーションしていくという想定はやめた方が良く思う。一挙に最大兵力で攻め、初戦で勝利を得るというやり方をしていると考えるとおくべきである。司会 憲法9条の改正について、政党の立場を越えて議論したい。宇都 自民党の9条改正案は問題がある。なぜなら、自衛隊を憲法に書き込むことで、自衛隊の抱える根本的問題をそのまま固定してしまう恐れがあるからである。その問題とは、自衛隊が軍隊ではなく行政機関にすぎないということ。私は、2項の後ろに「前項の規定は自衛隊の行使を妨げない」と書き入れるだけで良いと提案している。石川 これまで、憲法審査

会でまったくと言ってよいほど議論がなされてこなかったが、ようやく議論できるようになったことは評価したい。個人的には、自衛隊が憲法違反という学者が数多くいるということには解消すべき。憲法9条の改正に賛成できる案を提示すべきだと考える。松川 現実的なのは、自衛隊明記であろう。現状、憲法9条改正に反対しているのは立民と共産だけであるから、今こそ改正すべきだと思ふ。大事なことは国民の世論を待つのではなく、政治が主導して世論を形成していくこと。前文の「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しよう」という他力本願的な考え方は破棄すべき。河野 警察の延長として創設されたという経緯から自衛隊が行政組織となっており、国防組織としての根本的な問題がここにある。だから、自衛隊はやっていいことだけを規定されておられ、それ以外はできない。諸外国の軍隊はやってはいけないことを規定し、それ以外は何でもできる。そうでなければ国の防衛はできない。ピンラディンを殺害するのにも米大統領の命令でできるが、仮に自衛隊がこれをやるとなるとピンラディン殺害特別措置法を制定しなければならぬ。したがって、理想論を言うならば、憲法に行政組織とは別に軍隊を規定し、軍が国防をつかさどるということを書かなければならないと考える。

歴史勉強会

中島サロン

第96回
4月2日

錦城閣

現在の中部方面隊・第3師団の前身が第3管区隊としてその初代総監が大森寛さんでした。千僧駐屯地広報幹部時代に大森総監の回顧録(※1)と出会い、そしてその貴重な記録と内容に感動し、そこから拡がった取材資料は自衛隊の神代時代すなわち警察予備隊誕生時に、近畿の部隊誕生の経緯を知るきっかけとなりました。私の勤務経験のある偵察隊も舞鶴でどのように誕生したか知る結果となりました。広報に携わるものとして聖書のようなものと言って過言ではないと思います。

初代大森総監は青森県出身、昭和25年12月1日警察予備隊に入隊され、昭和37年には第5代陸上幕僚長に就任昭和40年1月に退官されたのですが、引き続き防衛大学校長に就任されています。制服組が学校長になられたのは大変珍しいのではないのでしょうか。また人物像ですが、所謂「人物」だったそうです。現役中に千僧にお住いの当時副官K氏から総監はとにかく現場主義で管区内を毎日巡回・巡視をさせられていたと、大森さんのお話、警察予備隊・保安隊時代の話をさせていただきました。今も宝物です。

予備隊創設の時代背景ですが皆様ご承知のとおり昭和25年(寅年)6月25日朝鮮戦争が引き金となってマッカーサー指合により予備隊が誕生していくのですがそれ以前昭和21年チャーチルの「鉄のカーテン」演説を連封し込み、22年冷戦本格化、23年日本をアジア共産圏の防波堤計画で7万5千の兵力の案が提示、この時マッカーサーは軍創設に反対の立場、S24年ソ連原爆実験成功、25年2月14日パレンティンデーもシャレにならんわけですが、中ソ軍事同盟「世界お騒がせ双子の誕生」という流れです。ついに7月8日マッカー

サーが吉田総理に宛てた指令が出ましたが(新聞記事スライドを示して)「(※2)警察予備隊を拡充強化し、創設を許可する」と書かれています。かねてから予備隊創設反対を主張していたマッカーサーが面子を保とうとした彼らしい表現と横地光明氏(元東北方面隊)も本(※3)に書いておられました。

警察予備隊(軍隊)創設したものの、これがまた大変なことが現場では起こっていたようです。まず入隊資格は満20歳・35歳男子等々旧制中学卒業は18歳以上、身長156cm以上で健康、待遇俸給5千円、勤務2年と募集(翌年は独身者が付け加えられた)され、当初合格者は25年8月下旬入隊したのですが、引き

は千僧駐屯地も同様(隊友会員の証言)です。総監は昭和26年4月宇治から伊丹に移駐、市民主催の歓迎式典が緑ヶ丘公園で。千僧へ移駐してきた第3施設大隊は昭和27年1月国鉄伊丹駅で市長はじめ大歓迎を受け列車から降りる前、余りにも多くの市民が集まっていたので皇族の出入を断るのかと思つたほどでした。

警察予備隊の各部隊が自立して訓練できたのは昭和27年4月言わずと知れた主権回復の日「対日平和条約」からです。今お話ししたそれ以前の予備隊の写真がほとんど残っていないのもその理由と聞きます。当時の隊員から聞いた話で写真撮影は主に米軍顧問団で予備隊が写真を撮影しても検閲され手戻るのは米軍が写っていない写真が返されたということでした。したがって各駐屯地・自治体に警察予備隊と対峙し対日平和条約前の写真は珍しいものとなっています。

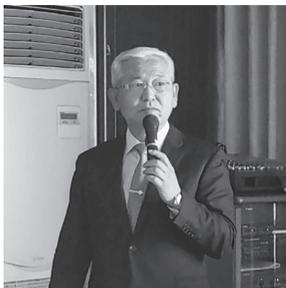
結びに先ほど巨波少将の難攻不落の有岡城も城内の混乱に乗じて、内通者などにより敵(信長軍)の攻め入るスキを与えて守れなかった教訓からこのような故事(出所不明)を引用されたので紹介いたします。

「国防とは国境の防衛を意味しない。敵を討つて城下の警いをなすむるの實力を備えて初めて国防の意義がある」

当然のことですが日本の防衛も自衛隊任せではため、法整備・政治・国民の愛国心・団結を整えなければ意味がない、我々含め防衛協力諸団体も正しい歴史認識の下、防衛思想の普及に頑張ってくださいませ。

関西の警察予備隊誕生秘話

元陸上自衛官 関西防衛を支える会会員 小林一吉氏



隊、警察あるいは進駐軍のトラックで行先も告げられず第3管区内の14カ所に「突っ込まれた」(当時の隊員の表現)のです。俸給も10月により全額ではなく一部を、また地方では一部ドルで支払われ結局年末に月額4千5百円で入隊した者、進駐軍顧問団の言葉の弊害、訓練のやり方に気に入らない者等々、退職者も多く出て緊急募集まで始まりました。入隊者は今でいう全員2等陸士、幹部はただ江田島・越中島(東京)で教育中でした。

国もGHQも昭和26年5月1日の編成完結に間に合うよう必死だったのです。特に第3管区隊は本丸である総監部が決まるのが一番遅く総監以下大変な焦りと緊張感だったと推測されます。しかし、隊員募集は始まり各所で訓練も開

始されていきました。舞鶴は海軍の街で有名ですが警察予備隊員6千500人が駐屯、当時の引揚援護局(平地区)・現舞鶴教育隊(松ヶ崎地区)の2カ所に駐屯してました。引揚げが中断していた間です。(スライドで当時の写真と現在の写真を比較紹介)この舞鶴で創設した某部隊の先任陸曹の手記が昨年発見されましたので一部紹介しますと、入隊当初、戦争への嫌悪感と戦争指導者への怨嗟が甚に満ちている状態、外出時「6万円」(2年満期の退職金)が歩くと隘口を聞かされる。隊内の混乱(米軍との関係・俸給など)と矛盾が拍車をかけ、自暴自棄、酒色へ走る、退職希望者増加。しかし時間とともに、適正生存・階級

は自衛隊は疎外されていた。当時は隊員の子どもが、学校の先生に父親の仕事全面否定されるほど。自衛隊は来るな、神戸はそういう意識が強くて、地域防衛の訓練すら参加することはない。自然の力に抗うには、自衛隊や警察、消防、民間、すべての力を結集することが大事なのに、神戸ではそうしてこなかった。そういう状況が大きく変わる転機になったのが阪神大震災だった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

震災後、淀川を管轄する高槻署の署長になった平成9年の防災訓練の打ち合わせには制服自衛官がズラっといた。

訓練当日の仮設訓練、淀川に仮設橋を架けてそこを車が通る自衛隊の術に皆驚き、拍手采だった。

今では当たり前のように警察と自衛と一緒にやっていたが、当時では考えられなかった。

司会「阪神大震災発災後、自衛隊に出動命令が届くまで3時間もかかっていたことですが、その間、松島総監の部隊の動きはどういうものだった？」

松「1年始や祝日の関係で、本格的な訓練が始まるのが例年そのくらいの時期で、それぞれの部隊は演習の準備をしたり演習場所に向かったりしていたのを、発災後すぐに駐屯地に戻した。隊員はみんな出動命令が出るのを今か今かと待っていた。

でも、自衛隊の指揮官が勝手に出動させるわけにはいかない。総理大臣が決めて防衛大臣が命合しないといけない。司会「大田顧問は当時大阪府警におられたが、発災直後の動きは？」

大「私は当時、第三方面警備隊で、最初に受けた指示が信太山にパトカーを派遣して自衛隊が現場に出動するのを先導せよ、というものだった」

三好顧問「当時の連隊長や隊員に聞いた話として」

当時、神戸の街が燃えているのが信太山から見えた。隊員は全員駐屯地に詰め状態だったが、行きたくても道路も寸断されていて行けず、困っている状態だった。

ようやくヘリをつかって王子公園まで行くルートができた。

王子公園は夜には施設されるので避難民がいなかった。

今は災害派遣用の機材も揃っているが、当時はそういうのも不足していた」

司会「発災から、陸幕に対して航空部隊の派遣要請が入るまでの4時間ちかく、航空隊長はヘリをホバリングさせて(出動命令を)待っていたり、正式な命令を受ける前から神戸に近づいていく部隊もあったとか？」

松「名古屋の10師団がそうだった。師団長はこれでは間に合わないかと判断して、「移動訓練」では間に合わないかと判断して、「移動訓練」



左から松島元総監、高橋会長、大田顧問

「このあたりに当時も今も原則は同じ。基本的には都道府県主体の災害対応計画に則って、警察・消防・自衛隊それぞれの任務が割り当てられて、それに従って動くので、警察の現場指揮に従うこともある。」

大「災害の救援活動は都道府県知事の管轄なので、その指揮下にある警察が主体で、それでは足りないときに自衛隊に要請する」

司会「今では合同訓練も当たり前になっていますが、最初の合同訓練では警察側はどのような感じだった？」

大「さすが自衛隊」という声しか出ない。先述の仮設橋などの技術も、それ以外の全体的な動きも全てにおいて。今では、警察の機動隊も信太山のレンジャー訓練などで非常にお世話になっている。訓練中の掛け声なども機動隊を通じて自衛隊方式が一般警察官にも浸透してきている。ヘリのホバリング技術なども自衛隊から教わった」

司会「このような合同訓練による経験値もあり東日本ときの連携は素晴らしい。ただ最近松島総監もおっしゃるように『鶏が死んで自衛隊』。なんでも自衛隊任せのこの状況は少し問題だと思つていますが」

忠「集団接種会場などにもそうだが、自衛隊はたとえ経験のないことでも、やれと言われれば完璧にこなす。しかし、自衛隊を便利屋に使うのは間違っている。国を守るべきは彼らの方である」

【締めの話】

阪神淡路大震災で自衛隊派遣まで時間がかかってしまった反省を踏まえ、現在では一定以上の震災が起きたときは自主派遣が認められている。このように自衛隊を取り巻く環境は徐々に変わってきているとはいえず、まだまだ足りない、もっと変えていかなければならないことがたくさんある。この辺りは特別顧問の国会議員の皆さんに頑張ってくださいませ。

元大阪府警視正・関西防衛を支える会顧問 大道欣孝氏

元中部方面総監 松島悠佐氏

元大阪府警視正・関西防衛を支える会顧問 大道欣孝氏

予備隊創設の時代背景ですが皆様ご承知のとおり昭和25年(寅年)6月25日朝鮮戦争が引き金となってマッカーサー指合により予備隊が誕生していくのですがそれ以前昭和21年チャーチルの「鉄のカーテン」演説を連封し込み、22年冷戦本格化、23年日本をアジア共産圏の防波堤計画で7万5千の兵力の案が提示、この時マッカーサーは軍創設に反対の立場、S24年ソ連原爆実験成功、25年2月14日パレンティンデーもシャレにならんわけですが、中ソ軍事同盟「世界お騒がせ双子の誕生」という流れです。ついに7月8日マッカー

サーが吉田総理に宛てた指令が出ましたが(新聞記事スライドを示して)「(※2)警察予備隊を拡充強化し、創設を許可する」と書かれています。かねてから予備隊創設反対を主張していたマッカーサーが面子を保とうとした彼らしい表現と横地光明氏(元東北方面隊)も本(※3)に書いておられました。

警察予備隊(軍隊)創設したものの、これがまた大変なことが現場では起こっていたようです。まず入隊資格は満20歳・35歳男子等々旧制中学卒業は18歳以上、身長156cm以上で健康、待遇俸給5千円、勤務2年と募集(翌年は独身者が付け加えられた)され、当初合格者は25年8月下旬入隊したのですが、引き

は千僧駐屯地も同様(隊友会員の証言)です。総監は昭和26年4月宇治から伊丹に移駐、市民主催の歓迎式典が緑ヶ丘公園で。千僧へ移駐してきた第3施設大隊は昭和27年1月国鉄伊丹駅で市長はじめ大歓迎を受け列車から降りる前、余りにも多くの市民が集まっていたので皇族の出入を断るのかと思つたほどでした。

警察予備隊の各部隊が自立して訓練できたのは昭和27年4月言わずと知れた主権回復の日「対日平和条約」からです。今お話ししたそれ以前の予備隊の写真がほとんど残っていないのもその理由と聞きます。当時の隊員から聞いた話で写真撮影は主に米軍顧問団で予備隊が写真を撮影しても検閲され手戻るのは米軍が写っていない写真が返されたということでした。したがって各駐屯地・自治体に警察予備隊と対峙し対日平和条約前の写真は珍しいものとなっています。

結びに先ほど巨波少将の難攻不落の有岡城も城内の混乱に乗じて、内通者などにより敵(信長軍)の攻め入るスキを与えて守れなかった教訓からこのような故事(出所不明)を引用されたので紹介いたします。

「国防とは国境の防衛を意味しない。敵を討つて城下の警いをなすむるの實力を備えて初めて国防の意義がある」

当然のことですが日本の防衛も自衛隊任せではため、法整備・政治・国民の愛国心・団結を整えなければ意味がない、我々含め防衛協力諸団体も正しい歴史認識の下、防衛思想の普及に頑張ってくださいませ。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

震災後、淀川を管轄する高槻署の署長になった平成9年の防災訓練の打ち合わせには制服自衛官がズラっといた。

訓練当日の仮設訓練、淀川に仮設橋を架けてそこを車が通る自衛隊の術に皆驚き、拍手采だった。

今では当たり前のように警察と自衛と一緒にやっていたが、当時では考えられなかった。

司会「阪神大震災発災後、自衛隊に出動命令が届くまで3時間もかかっていたことですが、その間、松島総監の部隊の動きはどういうものだった？」

松「1年始や祝日の関係で、本格的な訓練が始まるのが例年そのくらいの時期で、それぞれの部隊は演習の準備をしたり演習場所に向かったりしていたのを、発災後すぐに駐屯地に戻した。隊員はみんな出動命令が出るのを今か今かと待っていた。

でも、自衛隊の指揮官が勝手に出動させるわけにはいかない。総理大臣が決めて防衛大臣が命合しないといけない。司会「大田顧問は当時大阪府警におられたが、発災直後の動きは？」

大「私は当時、第三方面警備隊で、最初に受けた指示が信太山にパトカーを派遣して自衛隊が現場に出動するのを先導せよ、というものだった」

三好顧問「当時の連隊長や隊員に聞いた話として」

当時、神戸の街が燃えているのが信太山から見えた。隊員は全員駐屯地に詰め状態だったが、行きたくても道路も寸断されていて行けず、困っている状態だった。

ようやくヘリをつかって王子公園まで行くルートができた。

王子公園は夜には施設されるので避難民がいなかった。

今は災害派遣用の機材も揃っているが、当時はそういうのも不足していた」

司会「発災から、陸幕に対して航空部隊の派遣要請が入るまでの4時間ちかく、航空隊長はヘリをホバリングさせて(出動命令を)待っていたり、正式な命令を受ける前から神戸に近づいていく部隊もあったとか？」

松「名古屋の10師団がそうだった。師団長はこれでは間に合わないかと判断して、「移動訓練」では間に合わないかと判断して、「移動訓練」



粛々に行われた法要

元陸上自衛官で丸20年勤務で退職しました東野と申します。 令和4年4月29日、高野山奥の院で執り行われた昭和殉難者法務死追悼・年次法要に参加いたしました。 法要終了後は、法要の粛々とした雰囲気から和やかな観光行事へと変わり、お昼には関防学生会員のご実家である松葉堂さんに観光バスを横付けして、豪華な特製弁当をいただいたり、名物のかるかや餅などたくさんのお土産物もおまけ付きで購入させていただきました。 関防会のスケールの大きさに驚きました。 帰りの車内では、なにわ観光社会長からお酒などが振る舞われ、小山みどりさんによる地元和歌山の案内やレアクッズがもれなくもろろの高橋忠義会長とのじゃんけん大会など、楽しいイベント目白押しで終始楽しい時間を過ごしました。 今回初めての行事参加でしたが、関防会の本音や活動内容、会員同士の繋がりなどを知らることができた素晴らしい機会となりました。 今後、関防会会員として外部から国防を支えるべく積極的に活動して参りたいと思います。 改めまして、自衛隊退職後に再び自衛隊と関わる機会をくださった皆様とのご縁に深く感謝いたします。(会員) 東野耕治

昭和殉難者法務死追悼・年次法要

法要は、雨によって清浄化された空気なのか、祭主である関西銀行会長並びに、昭和殉難者法務死追悼碑を守る会会長の進行の元、高野山真言宗管長 総本山金剛峯寺座主、葛西光義院下のお導きにより粛々と執り行われました。

往路のバスでは、先の大戦で今日の平和な日本の礎となるべく皆様に対する巡遊と本法要執行に至る経緯などを高橋会長に詳しく解説いただき、現職の頃には深く学ばなかった歴史背景や真実を知り、改めて広く周知されねばならないと実感いたしました。 法要終了後は、法要の粛々とした雰囲気から和やかな観光行事へと変わり、お昼には関防学生会員のご実家である松葉堂さんに観光バスを横付けして、豪華な特製弁当をいただいたり、名物のかるかや餅などたくさんのお土産物もおまけ付きで購入させていただきました。 関防会のスケールの大きさに驚きました。 帰りの車内では、なにわ観光社会長からお酒などが振る舞われ、小山みどりさんによる地元和歌山の案内やレアクッズがもれなくもろろの高橋忠義会長とのじゃんけん大会など、楽しいイベント目白押しで終始楽しい時間を過ごしました。 今回初めての行事参加でしたが、関防会の本音や活動内容、会員同士の繋がりなどを知らることができた素晴らしい機会となりました。 今後、関防会会員として外部から国防を支えるべく積極的に活動して参りたいと思います。 改めまして、自衛隊退職後に再び自衛隊と関わる機会をくださった皆様とのご縁に深く感謝いたします。(会員) 東野耕治

6月16日昼、晴天の中、舞鶴教育隊新隊員への激励を行いました。高橋会長、浅尾支部長の挨拶の後、激励品として、経口補水液五百人分を贈呈致しました。 その後、舞鶴市内において、「関西防衛を支える会北部支部発足総会」を開催しました。総会に於いては特別顧問2人をはじめ舞鶴水交会長他地方議員のご来臨を賜る中で始められ、支部会則、役員等、審議議案は出席者全員から承認頂き、滞りなく終えることができました。 総会後は、新入隊員激励に参加された大阪方面からの会員も合流し海上自衛隊舞鶴地方総監部幕僚長 海将補 櫻



関防会北部支部発足総会



舞鶴地方総監部幕僚長講話



約500人の舞鶴教育隊新隊員を激励

北部支部だより



八尾 駐屯地

部方面航空隊と、第3師団隷下の第3飛行隊等が駐屯し、航空偵察、空中機動の任務を遂行するとともに関東から九州地区の東西を結ぶ中継基地としての役割を果たしています。 近年、駐屯地を一般開放する行事はコロナ禍のため中止してしまいましたが、3年ぶりとなる夏の花火大会、中部方面航空隊が創設60周年を迎える秋の創立記念行事では、今後のコロナの状況にもよりますが、多くの方をお迎えして開催できるように現在計画を進めているところです。 約600人の隊員が勤務する小さな駐屯地ですが、義理人情にアツい河内のおっちゃん、おばちゃんを始めとする地域の方々の応援を励みに、今日も全隊員が元気で士気旺盛に任務に邁進しています。

航空自衛隊小松基地に拠点置く飛行教導群の新司令に小松毅泰一佐が3月14日付で就任されました。飛行教導群は、空自の精強さを維持、より高めるために非常に重要な役割を担っていると思います。同群所属のF15戦闘機の墜落事故を受けて止まっていた訓練も再開しています。事故原因の全容究明はまだこれからとはいえ、新司令の下、ようやく本格的な再始動ができたことは良かったと感じます。 事故直後の2月には日本の守りの穴の有無を確認するかのようロシア機が日本海に飛来していました。中国は相変わらず侵入を繰り返しています。更に

ロシアのウクライナ侵攻は収まる気配もなく、国際情勢は緊迫しています。地政学的条件の違いはありますが、同じようにロシアとの国境を有する日本にとっても決して対岸の火事ではありませぬ。ウクライナの状況を目の当たりにして、ほんの少しずつですが日本国民も目が覚め始めたのではないかと感じているところです。 私はまだまだ国防に関する知識も拙いものではありますが、関防会に入会して多くのことを学ばせていただき、若輩ながら理事を拝命いたしました。これから微力ながら関防会、そして自衛隊の方々、ひいては国防のお役に立てるよう頑張ってまいります。 よろしくお願いたしました。(理事 西山夏生)

基地・駐屯地だより

陸上自衛隊八尾駐屯地 町「河内音頭」天草よしは、大阪府の八尾市に所在しています。八尾市の「若(ほう)」「旭ボンス」なメーシは「ものづくりの」を想像される方もいらっしゃるかと思います。 八尾空港と広域防炎拠点に隣接し、災害時には物資輸送の重要拠点となりうる八尾駐屯地は、おっちゃん、おばちゃんを始めとする地域の方々の応援を励みに、今日も全隊員が元気で士気旺盛に任務に邁進しています。

編集 後記

航空自衛隊小松基地に拠点置く飛行教導群の新司令に小松毅泰一佐が3月14日付で就任されました。飛行教導群は、空自の精強さを維持、より高めるために非常に重要な役割を担っていると思います。同群所属のF15戦闘機の墜落事故を受けて止まっていた訓練も再開しています。事故原因の全容究明はまだこれからとはいえ、新司令の下、ようやく本格的な再始動ができたことは良かったと感じます。 事故直後の2月には日本の守りの穴の有無を確認するかのようロシア機が日本海に飛来していました。中国は相変わらず侵入を繰り返しています。更に

会員の声募ります

事務局へメールでお送り下さいメールのない方はご郵送でもどうぞ

関西防衛を支える会 メールアドレス登録のお願い 関防会ではメールマガジンを開設致しています。関防会の活動内容、行事参加のご案内、また自衛隊の諸行事のご案内等をメールで皆さまにお届けいたします。 会員以外の方も登録いただけます。 会員登録 (32歳未満) 大歓迎 (32歳未満) 関防会ではメールマガジンを開設致しています。関防会の活動内容、行事参加のご案内、また自衛隊の諸行事のご案内等をメールで皆さまにお届けいたします。 会員以外の方も登録いただけます。 会員登録 (32歳未満) 大歓迎 (32歳未満)



ホームページ フェイスブック

ご入会のお願い

関西防衛を支える会では会員募集中です。ご入会ご希望の方は下記口座にお振り込み下されば、会員となります。 三井住友銀行守口支店 普通口座 1261314 口座名 関西防衛を支える会 郵便振り込み 口座番号 00960-2-137035 口座名 関西防衛を支える会 一般会員 年会費 3,000円 維持会員 10,000円 法人会員 20,000円 学生会員 1,000円 ホームページからの申し込みも可 http://kanboukai.jp/ *1口以上何口でも申し受けます。 銀行振り込みの場合は当会まで住所などご連絡下さるようお願いいたします。 (または振込用紙に電話番号を記入して下さい) *会計年度は4/1~3/31です

陸・海・空 自衛官募集



国家を守る、公務員。

陸海空自衛官 18歳~33歳未満まで